

NPO 法人 DGC 基礎研究所 2017 年 5 月期事業報告書

I 事業期間 2016 年 6 月 1 日 ～ 2017 年 5 月 31 日

II 事業の成果

1. 街路樹剪定枝葉の有効利用の推進

公園の緑化樹や街路樹などの剪定枝葉は毎年大量に焼却処分されている未利用資源ですが、剪定枝葉を分別せずに資源化する従来の方法では用途が限られるために需要が伸びないという問題があります。剪定枝葉を枝と葉に分別すれば、枝はそのままマルチング材に利用できるほか、パルプや木炭などの原料、バイオマス発電のための燃料として利用できます。一方、葉（生葉）は土壌改良材だけでなく、植物栽培用の培地にも利用できます。

当法人は継続的な技術指導、研究機関との共同研究や主要技術の特許化を推進すると共に、国土交通省や自治体、民間企業への技術の普及を図る活動を行っています。また、国道 43 号道路緑化樹の剪定枝を利用した「国道 43 号名刺」は当法人の事務局や会員のほか公益財



「剪定枝葉と刈草の活用技術」全体図

団法人公害地域再生センター（あおぞら財団・大阪市西淀川区）などでも使われています。なお、大阪府吹田市において「剪定枝葉の地産地消」の事業化が内定していましたが、市長の交代により延期された状態が続いています。また、ある大手住宅関連会社との業務提携による技術導入も検討されています。当法人は粘り強く各所への働きかけを行っています。

[参考] 有限会社マツテル <http://matteru.com/>

2. 高等独文解釈のウェブサイト公開 <http://dgcbase.jp/deutsche/>

上級者向け独文読解のためのサイト「高等独文解釈」は大阪大学名誉教授（故人）が独文解釈用に収集した文章とその和訳の遺稿を試行的にウェブ公開するものです。この遺稿は当初は参考書として出版されるためにまとめられましたが、一般の学生にはやや難解であることから出版が見送られていました。それから約 20 年を経た現在では、本ではなくインターネットを利用して発信することができます。ドイツ文学の学生のみならず一般の愛好家の方々にも広く読まれることを期待して、ウェブサイトにて 124 題を無料公開しています。

3. とよなかサイエンス BAR

「サイエンスカフェ」とは、学術講演会やシンポジウムなどの専門的な催しではなく、カフェのような雰囲気の中で科学について気軽に語り合う場を創ろうという試みです。日本でも様々な場が設けられていますが、専門家による一方的な講演に陥りがちで、会場に居合わせた誰もが「気軽に語り合う」までにはなかなか達していないようです。



「第32回とよなかサイエンスBAR」の様子

「とよなかサイエンス BAR」は、お酒やおつまみを楽しみながらもっと気軽に参加することを期待して、とよなか起業・チャレンジセンター（豊中市蛸池中町）に集う有志により創設されました。第23回（2015年1月13日）より当法人が主催となり、講師の選定や会計業務などを担当しています。参加者の中にはリピーターも多く、とても活発な質問や議論が交わされています。当期中は第32回「日本酒入門」（2017年1月27日）をくつろぎサロン（豊中市蛸池中町）にて開催し

ました。

[参考] とよなかサイエンス BAR（とよなか起業・チャレンジセンター）

<http://toyonaka-incu.com/saiensuba-.htm>

4. 電子ジャーナル「土壌植物栄養研究」 <http://dgcbase.jp/wjsspn/>

土壌・植物栄養分野の研究は、結果が得られるまでに年単位の時間を要することがよくあります。しかし、都道府県農業試験場では近年この分野の研究者が少なくなりつつあり、異動も常態化しているため、数年にわたる息の長い研究を行うことが難しくなっています。一方、継続的な研究ができるはずの大学では研究分野が細分化されて学際的で多様な議論の場が減り、地域に根ざした試験も実施しづらくなっているようです。この分野における地道な調査や研究の成果はこれまで農業生産や環境保全に大きく貢献してきましたが、今後もその重要性は揺るがないでしょう。

電子ジャーナル「土壌植物栄養研究」は、土壌・植物栄養分野の中でも生産現場に近い調査・研究情報を迅速かつ十分な精度で提供するために開設されました。当期に第1巻が刊行され、土壌物理性の改善についての原著論文が掲載されました。今後も、農業試験場や大学の研究者が充実した成果を即座に発表するための場として活用され、さらに農業生産の向上や環境保全に生かされることを期待しています。

5. 科学の普及啓発に資する図書の寄贈

世間には科学的とは言い難い情報が氾濫しています。話題がセンセーショナルなものに偏っているだけでなく、その情報自体が間違っていることも多々あり、それらが一般消費者の意識や行動に少なからず影響しています。竹内純子著「誤解だらけの電力問題」（ウェッジ）は電力問題を考えるための基礎知識がバランス良く解説された良書です。当法人は豊中・吹田・池田3市の公立図書館へ本書を寄贈しました。一人でも多くの方々に本書が読まれ、偏った情報に惑わされることのないよう期待しています。

[参考] 竹内純子著「誤解だらけの電力問題」（ウェッジ） <http://wedge.ismedia.jp/articles/-/3746>

6. 会員による科学普及活動～内山代表理事編

近年、傾斜地のブドウ園では土づくりが十分ではなく、施肥量に見合った収量が得られな

いことがあります。2016年11月29日、神宮寺出荷場（交野市神宮寺）でブドウ生産者向けに講習会が実施され、適正なタイミングで追肥を行うなどの対策について内山代表理事が講演しました。

また、大阪府立環境農林水産総合研究所農業大学校（羽曳野市尺度）における「土壌肥料」の講義を内山代表理事が担当しています。当期中に3回（2017年4月19日、5月10日、5月24日）の講義を実施し、2018年2月までに合計16回の講義を予定しています。

7. 会員による科学普及活動～森川理事編

金沢文化振興財団主催「金沢ナイトミュージアム」は、文学、能、工芸など、金沢に点在する17の文化施設で夜9時までの夜間開館と多種多様なイベントを期間中の毎週末に開催する「文化的夜遊び」です。2016年7月29日、徳田秋聲記念館（金沢市東山）において秋聲の出世作である「儼」に関するトークイベントが開かれ、森川理事が講師として出演しました。カビの役割や性質についてごく身近な例を挙げながら概説し、「儼」というタイトルの謎についての新たな説を見出しました。この説には学芸員の方からも興味深いとの意見を頂きました。満席30名の参加者にも反響があったのか、「儼」の文庫本が5冊も売れ、これは記念館としては「快挙」だったそうです。

また、しいのき迎賓館（金沢市広坂）の企画展「やっぱりいしかわはいいね！和傘をめぐる OTOKOTACHI Part2」（2017年1月8日～22日）に森川理事が出演。和傘に用いる和紙の繊維を顕微鏡で観察したり、小さな水引をオブジェクトとして入れた万華鏡や偏光板を用いた万華鏡を作成するワークショップを担当するなど、伝統工芸という敷居をなくした親しみやすい展示会にしました。

[参考] トークイベント「儼を語る」 <http://www.nightkanazawa.com/2016/07/post-25.php>

しいのき企画展「やっぱりいしかわはいいね！和傘をめぐる OTOKOTACHI Part2」

<http://www.shiinoki-geihinkan.jp/event/index.cgi?mode=pickup&ctg=gly&cord=292>

8. 研究者集団につながる窓口の運営 <http://dgcbase.jp/>

事務局やウェブサイトでは、学際的な共同研究、社会学連携による研究開発やイベントの企画立案などについての問い合わせを随時受け付けています。研究者集団への相談窓口としての役割に留まらず、科学的で俯瞰的な現状認識に基づいたコンサルティングを行っています。

III 事業の実施状況

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) 産官学民連携推進事業（一般会計）

【内 容】 産官学民連携事業の企画および支援

【実施場所】 京都府、大阪府、インターネット

【実施日時】 随時

【対象者】 参加希望者
【収入】 0円
【支出】 271,223円

(2) 科学普及啓発事業（一般会計）

【内容】 「とよなかサイエンス BAR」の開催
【実施場所】 くつろぎサロン（豊中市蛍池中町3-8-8）
【実施日時】 2017年1月27日、19時～21時
【対象者】 好奇心旺盛な大人の方
【収入】 42,000円
【支出】 25,590円

【内容】 電子ジャーナル「土壌植物栄養研究」の運営
【実施場所】 当法人事務局（豊中市曾根東町1-5-13）
【実施日時】 随時
【対象者】 土壌・植物栄養分野の研究者
【収入】 37,000円
【支出】 12,344円

【内容】 科学の普及啓発に資する図書の寄贈
【実施場所】 豊中市、吹田市、池田市
【実施日時】 2017年5月
【対象者】 上記自治体の公立図書館
【収入】 0円
【支出】 813円

【内容】 会員による科学普及活動～内山代表理事編
【実施場所】 神宮寺出荷場（交野市神宮寺1-27-3）、農業大学校（羽曳野市尺度442）
【実施日時】 2016年11月29日、2017年4月19日、5月10日、5月24日
【対象者】 交野市ブドウ生産者、農業大学校受講者
【収入】 96,800円
【支出】 0円

【内容】 会員による科学普及活動～森川理事編
【実施場所】 徳田秋聲記念館（金沢市東山1-19-1）、しいのき迎賓館（金沢市広坂2-1-1）
【実施日時】 2016年7月29日、2017年1月8日～22日
【対象者】 一般参加者
【収入】 0円
【支出】 0円

IV 社員総会の開催状況

1. 定時総会

【開催日時】 2016年8月27日、16時～17時30分

【開催場所】 当法人事務局（豊中市曾根東町1-5-13）

【出席者数】 正会員11名（正会員総数26名）

【議案】 第1号議案 2016年5月期事業報告及び活動決算の承認の件

【審議結果】 第1号議案は、満場異議無く承認可決した。

V 理事会その他の役員会の開催状況

1. 理事会

【開催日時】 2016年8月7日

【開催場所】 インターネット上（役員メーリングリスト上にて実施）

【出席者数】 理事3名（理事総数3名）、監事1名

【議案】 事業報告書案および決算報告書案の承認の件

【審議結果】 上記2案のいずれについても、満場異議なく原案通り承認した。

以上